

第1日目 7月17日(金) A会場(2F 大ホール)

開会挨拶

8:30 ~ 8:35

足立 好司(医療法人景雲会 春日居総合リハビリテーション病院)

教育講演 1

8:35 ~ 9:05

座長: 周郷 延雄(東邦大学医学部脳神経外科学講座(大森))

EL1 意識障害を東洋医学の観点から考える

てん 展 ひろとも 広智(帝京平成大学)

教育講演 2

9:10 ~ 9:55

座長: 黒岩 敏彦(春秋会城山病院)

EL2 小児の意識障害 成人との違いを踏まえた診療をするために

あさの 浅野 たけし 健(日本医科大学千葉北総病院小児科)

教育講演 3

10:00 ~ 10:55

座長: 近藤 和泉(東京都健康長寿医療センター)

EL3 軽度外傷性脳損傷後に出現する高次脳機能障害の病態 - 二相性セロトニン分泌異常仮説 -

しのだ 篠田 じゅん 淳(中部脳リハビリテーション病院脳神経外科)

特別講演 1

11:00 ~ 12:00

座長: 斉藤 敦志(弘前大学医学部脳神経外科)

SL1 慢性炎症を標的として加齢病態を改善する

なかにし 中西 まこと 真(東京大学医科学研究所)

会長講演

13:30 ~ 14:00

座長: 黒岩 敏彦(春秋会城山病院)

PL 意識研究の現状と近未来

あだち こうじ 足立 好司(医療法人景雲会 春日居総合リハビリテーション病院)

シンポジウム 1 関連学会合同シンポジウム

14:00 ~ 16:10

座長：丸山 隆志（宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院）
村井 保夫（日本医科大学 脳神経外科）
足立 好司（医療法人景雲会 春日居総合リハビリテーション病院）

S1-1 一般社団法人 日本意識障害学会

^{ながやま} 永山 ^{まさお} 正雄（国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学）
日本意識障害学会

S1-2 意識障害から高次脳機能障害へのトランジションと多職種連携の未来

^{まえしましんいちろう} 前島伸一郎（国立長寿医療研究センター）
日本高次脳機能学会

S1-3 脳神経外傷治療の現状と日本脳神経外傷学会の取り組みについて

^ま 間瀬 ^せ 光人（名古屋市立大学医学部脳神経外科）
日本脳神経外傷学会

S1-4 てんかんと意識障害

^{わたなべ} 渡邊さつき（横浜こころと脳波・てんかんのクリニック）
日本てんかん学会

S1-5 日本脳神経外科認知症学会

^{よしむら} 吉村 ^{くにかず} 晋一（関西医科大学総合医療センター脳神経外科）
日本脳神経外科認知症学会

教育講演 4

16:15 ~ 17:05

座長：三宅 啓介（香川大学医学部脳神経外科）

EL4 意識障害と AI

^{いかわ} 井川 ^{ふさお} 房夫（島根県立中央病院脳神経外科）

教育講演 5

17:10 ~ 18:10

座長：永山 正雄（国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学）

EL5 カンナビノイド 法規制の変遷と神経領域における医薬品開発

^{たくみ} 太組 ^{いちろう} 一朗（聖マリアンナ医科大学脳神経外科）

第1日目 7月17日(金) B会場(5F 小ホール)

一般口演1 頭部外傷

13:25 ~ 14:00

座長：小畑 仁司（多根総合病院 脳神経外科）

O1-1 システマティック・レビューから捉える脳振盪の本質：アムステルダム声明が示す意識変容の評価と管理の変革

なかやま はるお
中山 晴雄（東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科）

O1-2 プロボクシング救護における Neurological Pupil index (NPI) の有用性 - 左右差に着目した初期検討 -

なか え りゅう た
中江 竜太（日本医科大学付属病院 高度救命救急センター）

O1-3 自動車事故による脳損傷患者における脈絡叢体積と機能的改善との関連

もりしま りょう
森嶋 亮（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター脳神経外科）

O1-4 重症頭部外傷患者における多面的な介入が AAC 獲得に寄与した一症例

いしづか りょういち
石塚 諒一（自動車事故対策機構 千葉療護センター リハビリテーション科）

教育講演6

14:00 ~ 14:40

座長：大沢 愛子（国立長寿医療研究センター 機能回復診療部）

EL6 摂食嚥下リハビリテーション：覚醒から経口摂取へつなぐ評価と治療

あおやぎよういちろう
青柳陽一郎（日本医科大学大学院医学研究科リハビリテーション学分野）

一般口演2 食事栄養

14:40 ~ 15:15

座長：松浦 広昂（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座）

O2-1 看護師と言語聴覚士の協働により経口摂取に至った遷延性意識障害患者の一症例

ふかつ せりか
深津 芹華（藤田医科大学病院 看護部 意識障害回復センター）

O2-2 座位姿勢保持できない患者に介入したことで姿勢保持と摂食嚥下が進んだ看護実践報告

まつやま ゆかり
松山由香里（独立行政法人 自動車事故対策機構 千葉療護センター）

O2-3 急性期意識障害患者の食事再開支援における PT の役割 —姿勢管理と情報共有を軸とした多職種連携の実践—

もろ い たかみつ
諸井 孝光（医療法人社団孝尋会上田脳神経外科 リハビリテーション部）

O2-4 援助方法統一に向けた取り組み ～経管栄養患者の栄養注入時の角度調査より～

た なか なお こ
田中 尚子（社会医療法人医仁会 中村記念南病院 5 階病棟）

一般口演 3 モニタリング・意識の可視化

15:15 ~ 15:55

座長：三宅 啓介（香川大学医学部脳神経外科）

塩貝 敏之（仁誠会 介護老人保健施設 エリシオン 石木の里）

O3-1 自動車事故後遷延性意識障害例の聴覚誘発磁界を用いた脳内ネットワーク変化の考察

いけがめ ゆか
池亀 由香（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター脳神経外科）

O3-2 事象関連電位により意識の存在が示唆された頭部外傷後重度運動障害の一例

かとう ゆうや
加藤 侑哉（広南病院血管内脳神経外科）

O3-3 事象関連電位による意思伝達装置を用いた認知機能評価への取り組み

は せ がわりょうへい
長谷川 良平（産業技術総合研究所人間社会拡張研究部門）

O3-4 遷延性意識障害患者における長期連続バイタルモニタリングを用いた刺激反応性の可視化

いとう ただひこ
伊藤 匡彦（岡山療護センター）

O3-5 荷重クオリアによる右方志向性の回復 —左視床および左海馬梗塞後に右折困難を呈した一症例—

うえだ まさゆき
上田 正之（医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部）

一般口演 4 意識の検査

15:55 ~ 16:20

座長：矢野 大仁（木沢記念病院・中部療護センター）

O4-1 自動車事故後の無反応覚醒症候群（UWS）患者における脳糖代謝とNASVAスコアの縦断的検討

いたづ たかあき
板津 隆晃（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター脳神経外科）

O4-2 侵害刺激と非侵害刺激を識別する日本語版 Nociception Coma Scale-Revised のカットオフ値の検討

きたの たかゆき
北野 貴之（浜松医療センターリハビリテーション技術科）

O4-3 遷延性意識障害患者の意識状態と身体機能の実態調査

にいみ まさちか
新見 昌央（日本大学医学部リハビリテーション医学分野）

一般口演 5 脳疾患と意識障害

16:20 ~ 17:00

座長：佐々木正弘（秋田県立循環器・脳脊髄センター）

深谷 親（日本大学脳神経外科・リハビリテーション科）

O5-1 重症被殻出血に対する内視鏡下血腫除去術後に意識および機能回復を認めた一例

えのもと ひろゆき
榎本 弘幸（石心会川崎幸病院脳神経外科）

O5-2 意識障害を契機に診断に至った血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫(IVLBCL)の 1 例

ほしやま えいせい
星山 栄成（獨協医科大学脳神経内科）

O5-3 意識障害を伴うハンチントン病患者の看護 ～不随意運動による外傷予防～

しまくら か な
嶋倉 可奈（藤田医科大学病院）

O5-4 意識障害患者で Sturge-Weber 症候群の診断に難渋した一例

あだち やすたか
安達 康尊（日本医科大学脳神経外科）

O5-5 下垂体卒中で発症した下垂体細胞腫の一例

なかざと いちろう
中里 一郎（新松戸中央総合病院脳神経外科）

一般口演 6 遷延性意識障害の新たな視点

17:00 ~ 17:40

座長：小林 繁樹（自動車事故対策機構 千葉療護センター）

上田 孝（医療法人社団孝尋会上田脳神経外科）

O6-1 重度遷延性意識障害患者に対する訪問リハビリテーションにおける高頻度歩行介入の長期効果 -12 か月間の縦断的検討-

むとう ともかず
武藤 友和（Home Visit Rehabilitation Lab）

O6-2 長期経過を経た痙縮に対する選択的末梢神経縮小術の有効性

かわい のぶひこ
川井 伸彦（香川大学医学部脳神経外科）

O6-3 遷延性意識障害者に対するロボットアシスト付き傾斜台 Erigo を用いた治療経験

おお か ぬか とおる
大鹿糠 徹（広南病院 東北療護センター リハビリテーション部）

O6-4 マイクロクライメットの局所的総合調節による実験的圧迫性皮膚傷害の抑制効果

たかし えん
喬 炎（帝京平成大学）

O6-5 頸部体幹装具の導入により端座位の安定性と覚醒度が向上した遷延性意識障害の 1 例

さかぐち ふう
坂口 楓（中村記念病院）

座長：眞野 恵子（藤田医科大学病院）

- O7-1 遷延性意識障害患者と家族の意思を支援し、母親入所中の施設へ希望通りに行くことができた1症例
～気管カニューレ抜去、経口摂取への移行介入を経て～
佐野 遼太（春日居総合リハビリテーション病院看護師）
- O7-2 小児脳腫瘍術後患児と家族への看護介入
今尾 嵐（藤田医科大学病院看護部 NCU）
- O7-3 患者の苦痛軽減と患者家族のステロイド治療への拒否に対する関わり
石原 瑞希（独立行政法人自動車事故対策機構岡山療護センター）
- O7-4 意識障害患者の人生会議の内容を実現することが出来なかった症例を振り返る
日高智恵子（社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 所沢美原総合病院）